屋中だより

令和５年 10 月 10 日No.8

千曲市立屋代中学校
学校長　柳澤　正寿
（文　責）沖　美鈴
http://www.chikuma-ngn.ed.jp/~yashirojh/

＊「屋中だより」の内容は、屋代中学校ホームページでご覧いただけます。（千曲市教育委員会⇒小中学校一覧⇒屋代中学校）

杏苑祭☆大成功　ありがとうございました！

全校制作のうちわを持って写真撮影（開祭式にて）

９月 29、30 日の２日間、第 69 回杏苑祭が行われました。今年度は、久しぶりに、ほとんど制限のない開催となり、多くの方々にご来校いただきました。ありがとうございました。

この２日間、PTA の方がたくさん写真を撮ってくださいましたが、どの写真にも、心から楽しんでいる笑顔、誰かのためにがんばっている真剣な顔、“星瞬”している顔、緊張している顔、悔しそうな顔、うれし涙…素敵な表情が写っていました。その様子は生徒の振り返りからも伝わってきます。

全校でタオルを振ってダンス（閉祭式にて）

・杏苑祭が終わりました。一瞬のことで何が起きたか理解が追いついていません。その中で確かなのはクラスが、役員が、まとまりを越えて学校がひとつになったこと、みんながそれぞれの輝きを見せてくれたことです。（３年）

・１日経ちましたが、杏苑祭の余韻がすごいです。来年は自分たちの番って思うと今はまだ想像ができませんが、いつかはやってくる…来年は、楽しんでもらうことを楽しみたいです。今からできることをコツコツ積み重ねていって杏苑祭に繋げたいです。（２年）

・帰りの学活での大合唱！！楽しすぎました！杏苑祭の後というのが、すごくよかったです。これぞ青春！！このクラスで最初で最後の杏苑祭は、全て最高の思い出になりました！私が知らなかったクラスの力というものも知ることができてうれしかったです！（１年）

生徒会役員みんなで気合いの円陣（開始前）

みんながそれぞれの輝きを見せ、学校がひとつになった今年の杏苑祭。一人一人のがんばりが、杏苑祭を成功に導きました。

中心になって進めてきてくれた３年生の皆さん、おつかれさまでした。

千曲市中学校合同音楽会

10月４日（水）に、３年生は「千曲市中学校合同音楽会」に参加しました。この音楽会はコロナ禍でしばらく行われていませんでしたが、４年ぶりに市内の中学３年生があんずホールに集まり、学年合唱を発表し合いました。屋代中３年生の合唱は、音楽会でも披露した「手紙 ～拝啓 十五の君へ～」。音楽会後さらに練習を続け、どんどんよくなっていきました。本番、屋代中３年生の合唱は、会場に響きあふれ、聞いている人を感動させました。

きまりの意味って何でしょう

杏苑祭が終わり、日常生活が戻ってきました。そして、今年度も半分が過ぎ、後半に入りました。後半を迎えるにあたって、みなさんにきまりの意味について考えてもらいたいと思います。

屋代中では、２年前から生徒手帳を廃止し、いわゆる「校則」も、「生活のきまりと心得」として生徒と考えながら常によりよいものに更新するようになりました。「生活のきまりと心得」は、一つ一つ全てに意味があります。次のきまりを例にきまりの意味を考えてみましょう。

「学校に必要でないものは持ってこない」

まず、「学校に必要でないもの」とは何でしょうか。例えば、携帯電話が挙げられます。では、なぜ携帯電話を学校に持ってきてはいけないのでしょう。

携帯は自分の小遣いで簡単に買えないくらい高価なものです。大人にとっても同じです。もし、買ってもらった高価な携帯を学校に持ってきてなくしてしまったら一大変なことになることが予想されます。学校生活には不要なのに持ってきてしまった携帯を必死に探す。誰かが持っているかもしれないと友達を疑う。誰かに拾われて悪用されるかもしれない。周りを巻き込む大きなトラブルを起こすことになるし、自分がトラブルに巻き込まれることもあります。こうした無用のトラブルを避け、みんなが楽しく安心して過ごせるようにきまりがあるのだと思います。どうしても持ってこなければならない事情がある場合は担任の先生に預けるというきまりも同様の意味があります。

他にも「学校内生活は指定制服を着用する」「８時 15 分に学活が行えるように登校する」等、様々なきまりがあります。各自で「なぜそのきまりがあるのか」きまりの意味を考えながら、よりよい学校生活を過ごせるようにしましょう。

【連絡】

10 月23日(月)より、朝 7:55～8:10 に図書館を開館します。(放課後の開館は行いません)